

令和3年度

これからの農業を考える

農業をめぐる環境が大きく変わる中で、農業を稼げる産業にすることは、地域の活力を創造するためにも不可欠です。この研修では農業の更なる成長に必要な異業種連携による資源・技術・知見等の活用、スマート農業の推進等について、講義や先進事例を通して学び、これからの農業について考えます。

研修のポイント

- 日本農業の現状と課題について学びます。
- 魅力ある農業経営、最新技術の活用、他産業との連携による取組など、様々な視点から、農業をどのように活性化していくのか考察します。
- グループ討議を行い、戦略的に施策を企画・実施していく力を養います。

開催要領

日 程

令和3年11月24日(水)～11月26日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 農業振興に関わる市区町村等職員
- 農業委員会の委員・事務局職員
- 自治体と協働して農業振興を行うNPO職員、農業協同組合等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年10月7日(木)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

11月
24日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 日本の農業の現状と課題について

一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹 山下一仁氏

日本の農業の現状と課題、世界の農業情勢や取り巻く環境の変化を踏まえ、自治体職員としてこれからの農業に求められることについてお話しいたします。

15:50~17:00

講義 スマート農業～デジタル化が実現する儲かる農業～

日本総合研究所 創発戦略センター エキスパート 三輪 泰史氏

スマート農業の現状と今後の展望、省力化、効率化等により稼げる農業につなげる活用手法等について、具体的な事例等をふまえてお話しいたします。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和3年

11月
25日(木)

9:25~10:35

事例紹介 耕作放棄地の再生から「自産自消」の社会へ

株式会社マイファーム 代表取締役 西辻 一真氏

全国的にも耕作放棄地が増加し、その対策が課題となっているなか、株式会社マイファームによる耕作放棄地の再生を行う民間主導としての取組や仕組、今後の展望についてご紹介いただきます。

10:50~12:00

事例紹介 新規就農者育成事業の取組

公益財団法人 善通寺市農地管理公社 事務局長 高畑 強氏

市と農地管理公社が連携し、耕作放棄地対策の一環として、新たな担い手育成を目的に実施している、新規就農者及び農業後継者育成事業の取組についてご紹介いただきます。

13:00~14:10

事例紹介 石狩アプリケーションの取組

北海道石狩市企画経済部農政課 主任 河田 寛史氏

石狩市が農業の魅力発信や担い手確保につなげるため実施している農業と観光業が連携したアプリケーション事業の取組について、ご紹介いただきます。

14:25~17:00

演習 グループ討議

農業ジャーナリスト・明治大学農学部客員教授 榊田 みどり氏

テーマごとに分かれてグループ討議を行い、各自の状況や経験、知識、今後に向けたアイデア等を受講者間で共有し、発表の準備を行います。

17:00~

課外演習

令和3年

11月
26日(金)

9:25~12:00

演習 発表・講評・まとめ

農業ジャーナリスト・明治大学農学部客員教授 榊田 みどり氏

討議結果を発表し、講師からの講評をいただくとともに、今後の地域農業振興と地域活性化に向け施策の企画・実施に向けどのような行動をとっていくか考えます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。